



1



2



3

1道路が崩落し、現在も通行止めが続く市内山家の市道 2西鉄天神大牟田線、紫-朝倉街道駅間で線路沿いが崩落、修復のため全線運休に 3市内永岡を流れる山口川の護岸が崩壊し、川沿いの市道も崩落

主な対応の経過

8月12日(木)	4時50分	大雨警報(土砂災害)発表 自主避難所開設
	9時27分	洪水警報発表
	10時13分	土砂災害警戒情報発表
	10時50分	市内一部の土砂災害警戒区域・特別警戒区域に高齢者等避難(レベル3)発令
8月14日(土)	17時10分	市内全域の土砂災害警戒区域・特別警戒区域に避難指示(レベル4)発令
		福岡県(10市1町)に大雨特別警報が発表される
8月15日(日)	6時10分	福岡県の大雨特別警報解除
	6時20分	洪水警報解除 土砂災害警戒情報解除
8月17日(火)	8時40分	土砂災害警戒情報発表
	9時41分	洪水警報発表
	20時46分	洪水警報解除
8月18日(水)	7時30分	土砂災害警戒情報解除
8月19日(木)	4時18分	大雨警報解除 避難指示(レベル4)の解除

令和3年8月の大雨を振り返る 災害への備えと命を守る行動を

8月11日から19日にかけて、日本付近に停滞した前線に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、広い範囲で大雨となりました。

九州北部地方も、12日から13日にかけて、断続的に非常に激しい雨が続き、14日には福岡県に大雨特別警

報が発表されました。長期間にわたる大雨により、市内でも土砂災害などの被害が発生しました。

10月も秋雨前線や台風などによる災害が発生する時季です。災害時に自分の命を守るよう日頃から備えましょう。

降水量

総雨量	807.5mm
時間最大雨量	29mm (8月12日10時)

8月11日大雨注意報発表から8月19日大雨警報解除までの降水量(アメダス太宰府観測所)

被害の状況

人的被害	0件
農業、林業関連	99件
公共施設等 (道路、河川、土砂災害等)	105件

※8月24日時点

浸水被害防止に大きな効果

高尾川地下河川

平成26年8月22日の豪雨により二日市地域で浸水被害が多数発生したことを契機に、福岡県那珂県土整備事務所が「高尾川床・上浸水対策特別緊急事業」を進めています。

事業の主要工事、増水した水を流すトンネルを高尾川の地下に作る「高尾川地下河川築造工事」は令和2年6月に暫定運用を開始。その後、トンネル内をコンクリートで補強する二次覆土工事などを経て、今年の6

月から運用を再開しています。

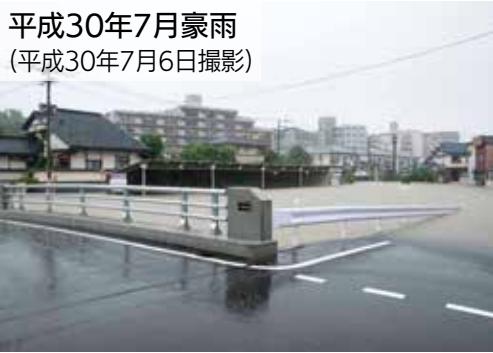
今回の大雨では、増水した高尾川から地下河川へ12回の流入を確認。以前は大雨が降ると心配されていた地域も、地下河川の築造をはじめとする浸水対策が実を結び、床上・床下浸水被害は1件も発生しませんでした。

筑紫野市は災害に強いまちへ、確実に歩みを進めています。

写真で見る浸水対策の効果

市内二日市中央の平成橋付近は平成30年7月豪雨でも高尾川の氾濫により多数の浸水被害が発生しましたが、今年8月の大雨では氾濫は起きませんでした。

平成30年7月豪雨
(平成30年7月6日撮影)

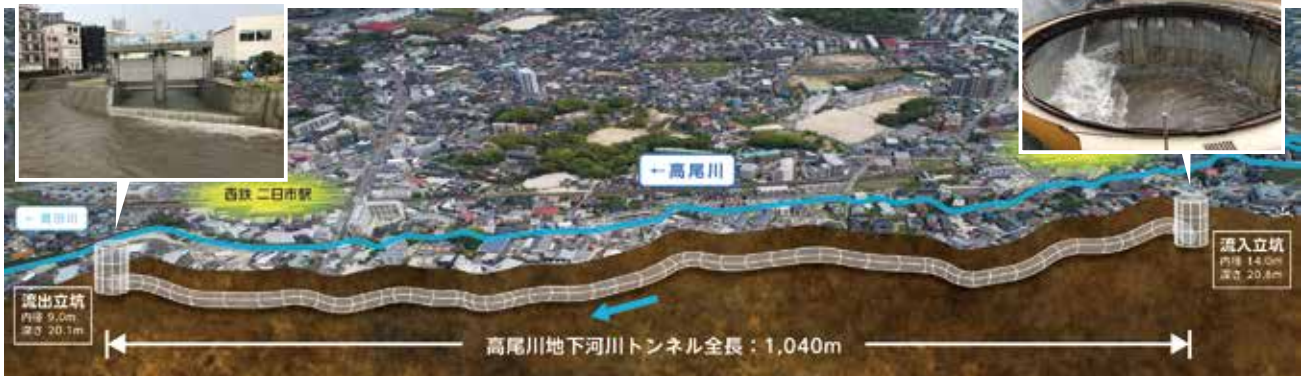


令和3年8月の大雨
(令和3年8月12日撮影)



高尾川の水位が上昇すると地下河川に水が流入▼

▼地下河川を流れてきた水を鷲田川に排出



災害が起こる前にできること ハザードマップを再確認しよう

今年、想定最大規模の洪水浸水想定区域と最新の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を掲載した「洪水・内水・土砂災害ハザードマップ」と、「ため池ハザードマップ」を配布しました。身の回りの災害危険箇所や避難経路などを確認し、災害時に慌てず行動できるよう備えましょう。

